

司会

日高真吾

国立民族学博物館教授。(財)元興寺文化財研究所研究員を経て、2002年より現職。博士(文学)。専門は保存科学。民俗文化財の保存修復方法、博物館における資料保存に関する研究をおこなう。主な著書、編著書に、『女乗物—その発生経緯と装飾性』(東海大学出版会 2008年)、『博物館への挑戦—何がどこまでできたのか』(三好企画 2008年 園田直子と共編)、『記憶をつなぐ—津波災害と文化遺産』(千里文化財団 2012年)、『災害と文化財—ある文化財科学者の視点から』(千里文化財団 2015年)がある。



お申込みについて

会場参加・WEB参加ともに
事前予約・定員制(先着順)での開催となります。
本人を含め2名までお申込みできます。(会場参加のみ)

受付期間

4月10日 映画会 受付期間

3月10日(水)9:00~4月2日(金) 17:00

定員になり次第受付終了

※解説時に手話通訳が必要な方は3月19日(金)までにお申込みいただき、その旨をお知らせください。

4月24日 映画会 受付期間

3月24日(水)9:00~4月16日(金) 17:00

定員になり次第受付終了

※解説時に手話通訳が必要な方は4月2日(金)までにお申込みいただき、その旨をお知らせください。

申込方法

●イベント予約サイトからのお申込み

[会場参加][WEB参加]ともに受付しています。

イベント予約サイト



<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>

●メール・電話からのお申込み

[会場参加]のみ受付しています。

次の必要事項をお知らせください。

- ①件名に「4月10日みんなく映画会」
または「4月24日みんなく映画会」
- ②参加人数 ③氏名(漢字、フリガナ)
- ④連絡先(固定電話/携帯電話/メールアドレス いずれか)
- ⑤都道府県 (③~⑤は代表者のみ)

[申込先]千里文化財団イベント予約受付

E-mail yoyaku-event@minpaku.ac.jp

Tel 06-6877-8894(9:00~16:00 土日祝を除く)

定員に満たない場合は当日参加を受付ます。(会場参加のみ)
予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の予防のため、イベントを変更・中止する場合がございます。事前にホームページでご確認ください。

展示・イベントのご案内

[特別展]

復興を支える地域の文化
2021年3月4日(木)~5月18日(火)

本展示では、東日本大震災から10年が経つ今、豊かな社会の礎となる地域文化の大切さとその継承について考えていきます。

場所:国立民族学博物館 特別展示館
観覧料:一般880円/大学生450円/高校生以下無料
※本館展示もご覧になれます。



3・11から10年

研究公演

じゃんがら念仏踊りみんなく公演

2021年5月8日(土) 13:30~16:15 場所/本館講堂

[出演]久之浜大久自安我楽念仏踊継承会

[解説] 逸藤 諭(久之浜大久自安我楽念仏踊継承会)

[司会]日高真吾

みんなくセミナー

双葉町に就職して—学芸員の視点から

2021年4月17日(土) 13:30~15:00 場所/本館講堂

[講師] 星 洋和(双葉町役場教育総務課)、日高真吾

郷土芸能の持つ力

2021年5月15日(土) 13:30~15:00 場所/本館講堂

[講師] 小谷竜介(東北歴史博物館主任研究員)、日高真吾

ウイークエンドサロン

江戸将軍家が愛用した十日町の越後縮

—古文書の解読と光学撮影調査

2021年4月4日(日) 14:30~ 場所/本館第5セミナー室

[講師] 高橋由美子(十日町市博物館学芸員)、末森 薫(本館助教)

寺社・石碑データベースの可能性

2021年4月11日(日) 14:30~ 場所/本館第5セミナー室

[講師] 寺村裕史(本館准教授)

シンポジウム

多角的な視点から捉える地域の文化

—博物館における研究の可視化・高度化

2021年5月2日(日) 13:00~16:40 場所/本館講堂

[講師] 日高真吾 他

みづか 映画会

Tremorings of Hope

特別展「復興を支える地域の文化—3.11から10年」関連イベント

願いと揺らぎ

ねがいとゆらぎ



2021.4.10 [土] 12:45-16:20 (開場 12:15)

2021.4.24 [土] 13:00-16:30 (開場 12:30)

明日に向かって

あすにむかってひけ



石川県輪島市皆月山王祭の現在

いしかわけんわじましみなづきさんのうまつりのげんざい

Challengers of Passing on Sanno Festival
Current Report on Mizukaki in Wajima City

[場所] 国立民族学博物館 講堂 [参加費] 無料(会場参加の方は要展示観覧券)

[定員] 160名 本映画会は会場参加のほか、WEBライブ中継でもご参加いただけます(定員300名) 要事前申込み

[主催] 国立民族学博物館

イベント申込等の詳細についてはホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の予防のため、イベントを変更・中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

会場参加で予約された方には入場整理券を11時より本館2階講堂前にて配布いたします。

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 企画課 博物館事業係
Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242 <https://www.minpaku.ac.jp/>

- 開館時間.....10:00~17:00(入館は16:30まで) ●休館日.....水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
- 観覧料.....一般 580円/大学生 250円/高校生以下 無料 ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール...「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約 15分
- バス.....阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約 13分
- 乗用車.....万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約 5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の予防のため、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。また、展示をご覧になる場合はオンライン予約のご来館にご協力ください。

関西から



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

[上映作品] ねがいとゆらぎ

願いと揺らぎ

宮城県南三陸町の漁村・波伝谷に密着し、東日本大震災後、住民たちの復興への願いとそれぞれの立場と思いからくる心の揺らぎを、伝統行事“お獅子さま”復活の過程を交えて映し出す。

2017年/日本/日本語/147分
監督:我妻和樹 プロデューサー:佐藤裕美
配給:ピーストゥリー・プロダクツ

2021.4.10 [土] 12:45-16:20 (開場 12:15)

[場所] 国立民族学博物館 講堂 [参加費] 無料(会場参加の方は要展示観覧券)
[定員] 160名 本映画会は会場参加のほか、WEBライブ中継でもご参加いただけます(定員300名) 要事前申込み
[主催] 国立民族学博物館
会場参加で予約された方には入場整理券を11時より本館2階講堂前にて配布いたします。



イベントページ → <https://www.minpaku.ac.jp/event>

[イベント概要]

本作品は、宮城県南三陸町の漁村・波伝谷を舞台に、復興のきっかけとなるよう地元の青年たちの発意で再開を決めた春祈禱という祭礼をめぐる、地域の人々の力で道具を整え再開したいと願う青年たちと、地域住民への負担を課さずに支援を受け入れて再開を目指す壮年層との齟齬を描きながら、地域が再編していくなかでの住民の葛藤を映し出したものです。災害からの復興の過程で何が起きているのかを共有しながら、文化が住民をつなぎ役割を果たすことを紹介します。



プログラム

- 12:45 —— 館長挨拶
- 12:50 —— 解説
- 13:05 —— 作品上映
- 15:35 —— 休憩
- 15:50 —— ディスカッション
「地域文化の継承を考える
——宮城県南三陸町波伝谷の事例から」
登壇者:我妻和樹(映画作家) 日高真吾(本館教授)
- 16:20 —— 終了

我妻和樹

映画作家。1985年宮城県白石市出身。東北学院大学在学中に、同大学の民俗学ゼミと東北歴史博物館の共同による宮城県本吉郡南三陸町戸倉地区波伝谷での民俗調査に参加したことがきっかけで2005年から同町に通い続け、2008年の卒業と同時に映画製作を開始。震災前を描いた『波伝谷に生きる人びと』(2014)、震災後を描いた『願いと揺らぎ』(2017)の2作を劇場公開。現在は東京を拠点に映画製作を進め、南三陸町を舞台にした新作『千古の空とマドレーヌ』の公開を準備する傍ら、みやぎシネマクラブ代表など地元宮城の映像文化発展のための取り組みもしている。



Challengers of Passing on Sanno Festival: Current Report on Mihazuki in Wajima City



プログラム

- 13:00 —— 館長挨拶
- 13:05 —— 解説
- 13:25 —— 作品上映
- 15:10 —— 休憩
- 15:25 —— ディスカッション
「地域文化の継承を考える
——石川県輪島市門前町皆月の事例から」
登壇者:川村清志(国立歴史民俗博物館准教授)
日高真吾
- 16:30 —— 終了

川村清志

国立歴史民俗博物館准教授。札幌大学文化学部教授を経て、2012年より現職。学術博士。文化人類学、日本民俗学の立場から、日本の祭礼や民俗芸能を中心に、フィールドワークに基づく研究を続けてきた。メディアによる文化表象への関心から映像文化の批評やドキュメンタリー制作もおこなう。主な著書、論文、作品に『明日に向かって曳け——石川県輪島市皆月山王祭の現在』(DVD監督、2016年)、『移動する身体と故郷の物語の行方』(『国立歴史民俗博物館研究報告』199、2016年)、『石川県輪島市山王祭フォトエスノグラフィー準備編』(川村清志・倉本啓之編、2018年)などがある。



[上映作品]

明日に向かって曳け

——石川県輪島市皆月山王祭の現在

石川県輪島市皆月の山王祭にかかわる青年会に焦点を当て、過疎化のなかで存続の危機に瀕する祭りの現在を焦点化したドキュメンタリー。

2016年/日本/日本語/102分 監督:川村清志

2021.4.24 [土] 13:00-16:30 (開場 12:30)

[場所] 国立民族学博物館 講堂 [参加費] 無料(会場参加の方は要展示観覧券)
[定員] 160名 本映画会は会場参加のほか、WEBライブ中継でもご参加いただけます(定員300名) 要事前申込み
[主催] 国立民族学博物館
会場参加で予約された方には入場整理券を11時より本館2階講堂前にて配布いたします。

あすにむかってひけ
いしかわけんわじまし
みなづきさんのうまつりのげんざい



イベントページ → <https://www.minpaku.ac.jp/event>

[イベント概要]

本映画は、特別展の実行委員でもある川村清志氏が、石川県輪島市皆月の山王祭に関わる青年会に焦点を当て、過疎化のなかで存続の危機に瀕する祭りの現在を描いた作品です。特別展では、地域文化が復興を支える力になることに主眼を置いています。本映画会では、そうした地域文化をどのように維持・継承していくのかという課題を共有するとともに、その解決手法を検討します。

Tremorings of Hope